

第11回

うらやす ドキュメンタリー 映画祭

～世界の現在位置を知る～

2025.7.20(日) - 7.21(月祝)

浦安市文化会館小ホール

7.20(日)

(特集1) 「狭くて、広い世界」を知る。

正義の行方

どうすればよかったか?

かづるの

夢みる校長先生

7.21(月祝)

(浦安特別企画) 「現像される街、お店」作品上映

つながりのカタチ (でんきのエルク) / あきないふたり (富岡 美好)

(特集2) 「遠くて、近い世界」を知る。

医師 中村哲の仕事・働くということ

戦雲

マリウポリの20日間

ノー・アザー・ランド 故郷は他にない

後援: 浦安市

主催: 浦安ドキュメンタリーオフィス

<https://urayasu-doc.com>

浦安から持続可能な社会を考える

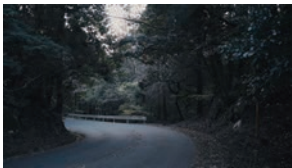
7/20[日] 9:40 開場

7/21[月祝] 9:40 開場

<特集1>「狭くて、広い世界」を知る。

狭い世界の出来事に見えても、その奥には想像を超えるほど広い世界があるのだと気づかされる作品を上映します。

10:00



©NHK

正義の行方

木寺一孝監督/2024年/158分/日本

1992年に福岡県飯塚市で2人の女兒が殺害され今なお多くの謎に包まれる飯塚事件の全体像を多面的に捉え、令和4年度文化庁芸術祭テレビ・ドキュメンタリー部門大賞を受賞したドキュメンタリー『正義の行方〜飯塚事件30年後の迷宮〜』を映画化。

- 第98回キネマ旬報ベスト・テン文化映画1位
-2024年日本映画ペンクラブ賞文化映画部門ベスト1

★木寺一孝監督ビデオメッセージ

13:15



©2024 動画工房ぞうしま



第11回浦安ドキュメンタリー映画大賞

どうすればよかったか？

藤野知明監督/2024年/101分/日本

面倒見がよく優秀な姉に統合失調症の症状が現れた。父と母は玄関に南京錠をかけ、彼女を閉じ込めた——20年にわたってカメラを通して家族との対話を重ね、社会から隔られた家の中と姉の姿を記録。正解のない問いはスクリーンを越え、私たちの奥底に容赦なく響きつづける。

★藤野知明監督、浅野由美子プロデューサー

15:45



©Office Kumagai 2023

かづゑ

熊谷博子監督/2023年/119分/日本

瀬戸内海にある国立ハンセン病療養所に暮らす宮崎かづゑさん。10歳で入所以来、約80年間療養所暮らしを続ける彼女の人生と、常に新しいことに挑戦し続け力強く生きる現在の日々を8年間に渡って撮影した。「できるんよ、やろうと思えば」

- 第25回ドイツ・ニッポン・コネクション日本映画祭ニッポン・ドックス賞

★熊谷博子監督

18:25 (ラストバス本対象)



©まほろばスタジオ

夢みる校長先生

オオタヴィン監督/2023年/82分/日本

公立学校はこんなに自由だった！10万人が沸いた『夢みる小学校』のスピノフ映画登場！ユニークな6人の公立学校校長が“子どもが主役の学校改革”を紹介。「子どもが行きたくなる学校」のビジョン満載の心躍るドキュメンタリー。

★西郷孝彦さん(元桜丘中学校長/本作出演)

(20:15 終了予定)

★…ゲストトークあり

*上映スケジュール、ゲストは予告なく変更する場合がございます。
*入場後、各回ごとの入替はございません。

会場 Venue

浦安市文化会館 小ホール (猫突1丁目1-2/浦安市役所隣)

*浦安市文化会館専用駐車場はございません。
ご来館の際は、公共交通機関をご利用下さい。
*会場への行き方の詳細はこちらよりご確認ください。 ----->



- 東京メトロ東西線「浦安駅」より 徒歩約25分または、バス約10分
- JR京葉線・武蔵野線「新浦安駅」より 徒歩約20分または、バス約10分

チケット Tickets

1dayバス(日付指定) <7/20 or 7/21>

【事前予約】1,800円(一律) ※7/18(金)までに予約フォーム、電話、メールにてお申込み下さい

【当日券】一般・シニア:1,999円/大学・専門:1,500円/高校生以下:1,000円

ラスト1本バス(各日最後の上映のみ。上映の15分前より入場可) ※当日のみ
【当日券】一般・シニア・大学・専門 1,000円 / 高校生以下: 500円

*サポーター会員の方は当日料金から200円引き

*「1dayバス」の大学・専門、高校生以下は当日券のみの取扱いとなります

<浦安特別企画>「現像される街、お店」作品上映

東京藝術大学 Diversity on the Arts Project 「ドキュメンタリー映像演習」の受講生と藝大生が浦安に生きる人々を題材に制作した短編映画2本を特別上映します。

10:00



つながりのカタチ (19分)

浦安市で2代39年続く「でんきのエルク」。街のでんきやさんとは一体何か、街の中でどのような役割を果たしているのか、映像を通じて考える。

あきないふたり (16分)

創業から40年以上の浦安市富岡の老舗和菓子屋「富岡 美好」。なぜこの店の和菓子はここまで長く愛され続けているのか。夫婦ふたりのあきないのかたちを取材。

★関係者によるトークイベント(予定)

<特集2>「遠くて、近い世界」を知る。

遠いところの出来事であっても、世界はひとつつながり。現実には私たちのすぐ近くにある、と思ひ至る作品を上映します。

11:15



©日本電波ニュース社

医師 中村哲の仕事・働くということ

日本電波ニュース社 製作/2021年/47分/日本

アフガニスタンとパキスタンで、病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々のために35年にわたり活動を続けた医師・中村哲。生涯をかけて、現地の人々と共に、現地の人々のために働いた。その軌跡を通し、「働く」とは何かを考える。

★藤田徹さん

(日本社会連帯機構専務理事/本作記配責任者)

13:00



©2024 『戦雲』製作委員会

戦雲

三上智恵監督/2024年/132分/日本

2015年から8年間にわたり沖縄本島、与那国島、宮古島、石垣島、奄美大島などをめぐって取材を続け、迫り来る戦争の脅威に警鐘を鳴らすとともに、過酷な歴史と豊かな自然に育まれた島の人々のかけがえのない暮らしや祭りを鮮やかに映し出す。『標的の村』『沖縄スパイ戦史』の三上智恵監督最新作。

★三上智恵監督リモートトーク(予定)

15:55



©2023 The Associated Press and WGBH Educational Foundation

マリウポリの20日間

ミスティスラフ・チュルノフ監督
2023年/97分/ウクライナ、アメリカ

2022年2月、ロシアがウクライナ東部マリウポリへ侵攻開始。海外メディアが次々と脱出していく中、戦火に晒された人々の惨状をウクライナジャーナリストたちが命がけで撮影を敢行し、決死の脱出劇の末、世界へと発信された奇跡の記録映像。

- 第96回アカデミー賞長編ドキュメンタリー映画賞

★ベトロ・フーチェンコさん、テチャナ・ホンチャレンコさん
(一般社団法人日本ウクライナパートナーシップ協会)

18:15 (ラスト1本バス対象)



©2024 ANTIPODE FILMS. YABAYAY MEDIA

ノー・アザー・ランド

故郷は他にない

監督：パーセル・アドラー/ユヴァル・アブラハム/
ハムダーン・パラル/ラヘル・ショール
2024年/95分/ノルウェー、パレスチナ

破壊される故郷を撮影し続けるパレスチナ人青年と、彼を支えるイスラエル人青年。敵同士であるはずの2人の「命がけの友情」が生んだ奇跡のドキュメンタリー。2023年10月までの4年間にわたり記録した。

-2024年ベルリン映画祭最優秀ドキュメンタリー賞&観客賞

- 第97回アカデミー賞長編ドキュメンタリー映画賞

★川上泰徳さん(中東ジャーナリスト)

(20:20 終了予定)

ご予約・お問合せ Reservation&Contact

浦安ドキュメンタリーオフィス
Urayasu Documentary Office

070-5454-1980

info@urayasu-doc.com

https://urayasu-doc.com

https://urayasu-doc.com/festival2025(映画祭特設サイト)

facebook.com/urayasudoc x.com/UDFF2011

当日のボランティアスタッフも募集中！！

チケット
予約フォームは
こちら

